

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 健康保険課

シート No.： 34-1 作成日： 2025.5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	国民健康保険療養給付費は、被保険者数の減少に伴い年々減少している一方、一人当たりの給付費は、高齢化や医療技術の進歩に伴い増加しています。少子高齢化が急速に進んでおり、現行の医療保険制度を将来にわたり維持することができなくなる恐れが指摘されています。 このため、医療費の適正化を図ることを目的として、現在服薬している新薬（先発医薬品）をジェネリック医薬品（後発医薬品）に切り替えた場合の差額の通知や、市ホームページへの掲載及び窓口へのチラシの設置及び医療機関との連携により、ジェネリック医薬品への切り替えを啓発していきます。	ジェネリック医薬品の普及は、医療の質を保ちつつ被保険者負担の軽減や医療費の適正化を図ることができるため、ジェネリック医薬品の利用率（数量ベース）81.25%を目標とし、事業を実施していきます。
	施策	3 生活の自立支援・社会保障		
	施策内容	社会保障制度の適切な運営		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	国民健康保険法		
事務事業名		医療費適正化		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
ジェネリック医薬品 差額通知 （R 6・7・8）	国民健康保険被保険者のうち、新薬からジェネリック医薬品へ切り替えることにより、一定額の医療費の削減が見込まれる方へ通知し、切り替えを促します。	通知者数（人）	400	400	500 千円	275 千円
市ホームページへのジェネリック 医薬品使用に係る啓発記事の掲載 （R 6）	ジェネリック医薬品についての説明や積極的使用を呼びかける内容の記事を掲載し、利用を促進します。				千円	千円
チラシによるジェネリック 医薬品使用の啓発 （R 6）	ジェネリック医薬品についての説明や積極的使用を呼びかける内容のチラシを配布し利用を促進します。				千円	千円
市内医療機関との連携 （R 6・7・8）	差額通知を送付したことを医療機関へお知らせした上で、ジェネリック医薬品使用の協力依頼をします。	医療機関への 通知回数（回）	1	1	千円	千円
			1	1	千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
ジェネリック医薬品利用率（数量ベース）	84%	87.98% (R6.10 現在)

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
差額通知の発送が12月であったため、効果を図る時期が遅れてしまいました。来年度は年度当初に実施し、早期に効果を図り、医療費の削減を目指します。 市内の薬局と連携を図り、服薬などについて、被保険者の方からの相談に対し、専門的知識を有した薬剤師よりアドバイスをいただきました。	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☒ その他
	今後の方向性			
	茨城県医療費適性化計画では、後発医薬品の使用促進を80%以上としているところ、当市においては80%を大きく達しています。来年度以降は、国（厚生労働省）においても数量ベースだけでなく金額ベース（2029年度末までにジェネリックの金額シェア65%以上）での副次目標を掲げていることから、来年度以降は、金額シェアを目標値に設定し、事業を実施していきます。			